

学籍番号	氏名	担当教員	テーマ
M19-0625E	鈴木 晴也	大曾根 先生	楽々入院タッチパネル活用システムの構築

## 1. 研究動機

iPad や Windows タッチなどの出現により、タッチパネルが急速に普及し、高齢者でも使いやすいインターフェースが徐々に社会に普及してきた。一方、医療施設の情報化が進む中、入院患者の生活は昔とほとんど変わっていない。現在ある最新技術を使えば、入院患者の娯楽や生活はもっと充実したものになるのではないだろうか。そこで私は、タッチパネルを活用した情報システムを提案し、入院患者の娯楽や生活をより快適にしたいと考え、本システムを開発することにした。

## 2. システムの概要

本システムは、タッチパネルのインターフェースを用いて、入院患者を娯楽と生活補助の面からサポートするシステムである。

### (1) 娯楽機能

#### ① チャット機能

退屈や不安を解消するために、患者同士がチャットで会話できるようにする機能である。その画面仕様を図2に示す。

#### ② Web 閲覧機能

入院中に Web を楽しむために、Web ページを閲覧する機能である。

### (2) 生活補助

#### ① ナースコール機能

病院では看護師を呼ぶ状況が頻発する。そこで、呼出し理由のボタンを押すだけで看護師を呼び出せるナースコール機能を設けた。

#### ② 商品注文機能

病室で売店の商品を購入するための機能である。

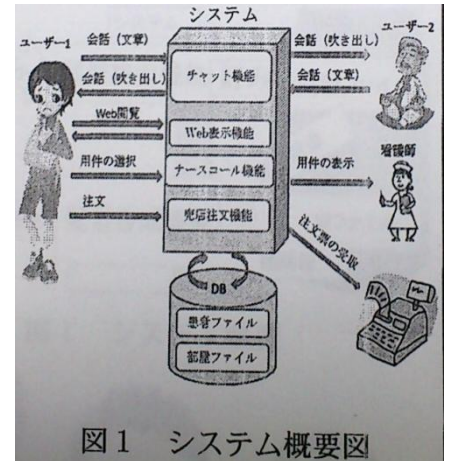


図1 システム概要図

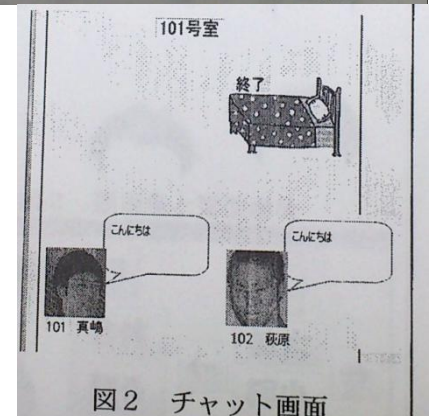


図2 チャット画面

## 3. タッチボードの仕様

チャット画面におけるタッチボードの外部仕様を図3に示す。ここでは、以下の工夫をした。

- ① 高齢者に見やすくするため、キーの文字を大きく表示する。
- ② 入力文字の確認をしやすいように、タッチしたボタンを中央に拡大表示する。
- ③ 目移りを防ぐため、入力した文章を同じ画面に表示する。

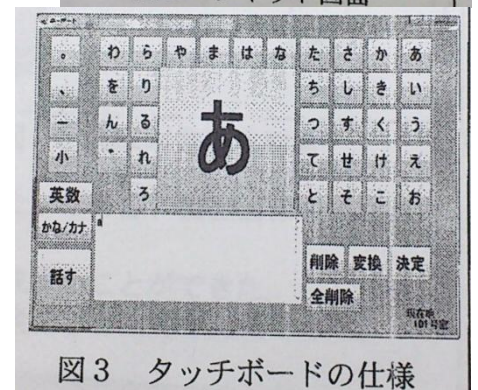


図3 タッチボードの仕様

## 4. 研究結果

- (1) 画面毎に特化したキーボードを設計することができた。
- (2) 病院内における娯楽機能と生活補助機能をある程度開発することができた。

## 5. 残された課題

- (1) Web 閲覧機能が不十分なので、さらに充実させたい。
- (2) 病院内の構成図をさらにポップで明るいものにしたい。

キーワード	病院、タッチパネル、タッチボード				
種類	システム開発	手法	ユーザインターフェース	データ源	なし
使用ハード	パソコン	使用ハード	VB2008	使用言語	Visual Basic